

# 精算表 シミュレーション

次の期末修正事項に基づいて精算表を完成しなさい。  
ただし、会計期間は平成28年1月1日から平成28年12月31日までの1年である。

- 現金の実際手元有高は¥【40,000】である。
- 得意先〇〇商店が倒産し、同店に対する売掛金¥【250,000】が回収不能となったので、貸倒として処理する。
- 受取手形と売掛金の期末残高に対して、【3】%の貸倒引当金を設定する
- 期末商品棚卸高は¥【78,000】である。なお、売上原価の計算は「仕入」の行で行う。
- 備品について定額法によって減価償却を行う。  
ただし、備品のうち80,000は平成28年【8】月末に引渡しを受け、使用開始したものである。  
新・旧備品とも耐用年数は5年、残存価格は取得原価の1割である。
- 消耗品の期末未消費高は¥【30,000】である。なお、消耗品は購入時に費用処理をしている。
- 保険料は【10】月1日に向こう1年分を支払っている。決算にあたり未経過分を繰り延べる。
- 貸付金の利息¥【1,200】を見越計上する。
- 手数料の前受け分が¥【20,000】ある。
- 支払家賃は1か月分¥【4,000】であり、平成28年9月分が未払いである。

出題

## 精 算 表

平成28年12月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	50,000							
受取手形	220,000						220,000	
売掛金	500,000							
有価証券	30,000						30,000	
繰越商品	80,000							
備品	150,000						150,000	
貸付金	180,000						180,000	
支払手形		90,000						90,000
買掛金		287,000						287,000
貸倒引当金		14,000						
減価償却累計額		60,000						
資本金		500,000						500,000
売上		3,067,200				3,067,200		
受取手数料		41,000						
受取利息		7,300						
仕入	2,550,000							
給料	190,000				190,000			
消耗品費	57,000				27,000			
保険料	15,500							
支払家賃	44,000							
	4,066,500	4,066,500						
雑【 】								
貸倒損失								
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
消耗品								
【 】保険料								
【 】利息								
【 】手数料								
【 】家賃								
当期純【 】								

判定